

「新しい啓蒙のための連携研究機構」創設のための連続講演会

マルクス・ガブリエル

「新しい啓蒙のために」（仮題）

【日時】 2023年5月8日（月）9:30-11:30

【場所】 東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター3階 特別会議室/Zoom

【対象者】 関係者限定

【言語】 英語

マルクス・ガブリエル先生は、新実在論や新実存主義の論客として知られていますが、現在ハンブルクにあります The New Institute で「新しい啓蒙」プロジェクトを展開していらっしゃいます。この概念はもともと、ジャック・デリダとユルゲン・ハーバーマスが哲学的に歩み寄った時に提唱したのですが、どうしても西洋中心主義・人間中心主義を免れないものでした。その限界を突破し、もう一度人間を再考し、その現代的な条件をなしている資本主義・民主主義・科学技術について、哲学自体を変容させながら迫ってみることが「新しい啓蒙」の内容です。ここでは、先端科学技術に焦点を当てながら、そのダイナミックな進展に対して、哲学がどのような概念で対話を挑もうとしているのかを、論じていただきます。

【マルクス・ガブリエル氏プロフィール】



ボン大学哲学科教授／The New Institute アカデミック・ディレクター。ボン大学で認識論および近現代哲学について教鞭を執る。Center for Science and Thought ディレクター、International Centre for Philosophy NRW 会長を兼任。他にも、数多くのフェローシップ、客員教授を務める。受賞歴多数。多くの著書が諸言語に翻訳されている（邦訳書多数）。